

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地		
所在地	三浦郡葉山町下山口・一色・堀内		
サイトURL	http://www.hayama-park.com/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(葉山公園：昭和32年4月、はやま三ヶ岡緑地：平成9年7月)		
指定管理者名	三菱電機ライフサービス株式会社		
指定期間	H27.4.1～H32.3.31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p><今後の方針等> 利用状況がA評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がS評価となったため、3項目評価はS評価となった。 (1)葉山公園 今後は、海浜植物やクロマツを保護・育成する維持管理や地域との協働による公園管理等の良好な取組みを継続するとともに、利用者層の拡大に向けた更なる取組みの充実が望まれる。 (2)はやま三ヶ岡山緑地 今後は、植物育成のための良好な維持管理及び自然を活かしたイベントを継続するとともに、公園内や公園周辺の安全を確保する樹林管理について更なる取組みの充実が望まれる。</p>	
<p><各項目の詳細説明> <1 管理運営等の状況> 葉山公園は、景観の保全や魅力向上を図る取組みが行われ、提案どおりの管理運営状況にある。はやま三ヶ岡山緑地は、都市林として良好な自然環境の維持・保全に取り組み、提案どおりの管理運営状況にある。 (1)葉山公園 維持管理に関しては、裸地化した芝生の修復や、クロマツの適正な病害虫対策、良好な花壇管理を実施するなど、公園の魅力に向けた取り組みがみられる。 利用促進に関しては、葉山公園前の海岸を利用した海のワークショップや健康ウォーキングを開催するなど、利用者の拡大に向けた取組みの充実がみられる。 (2)はやま三ヶ岡山緑地 維持管理に関しては、手作りの樹木ラベルをコース内に設置するほか、日常的に丸太階段の点検補修を行い、利用者の安全確保に努めている。 利用促進に関しては、公園の魅力に触れてもらうため、自然や歴史のイベントを実施するほか、常設アンケートを基に各コースに手作りの杖を設置することにより、来園者の増加が図られている。 地域連携の取組みに関しては、地域イベントの共同開催や地元の子供達と花壇整備を行うなど、イベントを通して地元の方が公園に親しめる機会の提供にも努めている。</p>	
<p><2 利用状況> 年間を通じ、マリンレジャー客が多いことに加え、毎日来園する常連客や定期的に利用する団体客も定着しつつあり、対前年度比で97.8%、利用者数は目標達成率で増減率は104.1%となったため、A評価となった。</p>	
<p><3 利用者の満足度> 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が94.8%と高い評価を得たため、S評価となった。</p>	
<p><4 収支状況> マリンスポーツの利用者の増加に伴い、駐車場収入が増加し収支比率106.9%となったためS評価となった。</p>	
<p><5 苦情・要望等> 適切な管理運営により、利用者や近隣住民より管理運営について好評価を得ている。</p>	
<p><6 事故・不祥事等> なし</p>	

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>施設の維持管理</p> <p>(1) 葉山公園の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロマツの保全 ・境界地の越境枝の剪定 ・裸地化した芝生広場の修復 ・園内看板の見直し ・植物ラベルのリニューアル化 ・バリアフリー化 ・ベンチの足場の段差解消 ・その他 <p>(2) 三ヶ岡山緑地の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無機質な樹木ラベルの更新 ・劣化した丸太階段の補修 ・レールが剥き出しの運搬モノレール山頂終点付近の安全柵設置 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による樹木診断を実施し、樹勢の管理を行った。また、冬季にはこも巻を実施した。 ・日々の外周巡視の中で適宜に枝の剪定を実施した。 ・広場内に堆積した砂を除去し、利用状況等を勘案して、芝の補植を実施した。 ・葉山らしさを念頭に、地元で親しまれるような案内看板を設置した。 ・日焼けで見えなくなった植物ラベル全てを更新した。 ・障がい者専用駐車場の確保及び貸し出し用の車いすを設置した。 ・ベンチの足場に石盤を敷き、地面の侵食防止を図るとともに、周囲に芝生を敷き、快適に利用できるように努めた。 ・利用者が親しみやすくなる様、植物の花壇を整理した。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース内の多くの樹木に手作りの樹木ラベルを設置した。 ・日々の巡視で、危険度合により丸太階段の補修を実施した。 ・安全性の更なる向上を図るため、景観に配慮しながら柵を設置した。 	提案の効果が確認された。
<p>利用促進のための取組</p> <p>(1) 葉山公園の利用促進方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のワークショップの開催 ・森と海のワークショップの開催 ・健康ウォーキングの開催 ・プロモーション活動 ・ホームページの製作と運用 <p>(2) はやま三ヶ岡山緑地の利用促進方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ハイキングの開催 ・パブリシティ活動 ・その他 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眼前の浜辺に生息する生き物観察会を実施した。 ・海や森の自然がもたらす恵みを体感できるイベントを実施した。 ・歩き方のコツを学べるイベントを実施した。 ・メディアに働きかけて、イベントを通し公園の魅力を発信した。 ・親しみやすく利便性の高い情報を提供するために、公園ホームページの更新頻度を上げて情報を発信した。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉山山楽会の協力を得て三ヶ岡山の自然や歴史に触れるイベントを開催した。 ・公園の魅力が発信される様、観光情報誌への掲載を調整した。 ・常設アンケートの要望に対応するため各コース入口に手作りの杖を設置した。 	提案の効果が確認された。

地域と連携した魅力ある施設づくり ・地元NPOと連携したイベント企画 ・コミュニティガーデンを作ろう ・他の公園との連携	・地域と連携したイベントを葉山公園で2回、三ヶ岡山で2回実施した。 ・地元の子供たちと協働で北側花壇を整備した。 ・鎌倉市の笛田公園と相互巡視を実施し、交流を図った。	提案の効果が確認された。
---	---	--------------

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
利用者ニーズに応じた自動販売機を設置	葉山公園において、災害対応型自動販売機、緑の羽根募金自動販売機を設置した。
レンタサイクル事業の実施	葉山公園において、レンタサイクル事業の実施に向けて、バランスバイクの設置検討を行った。
レジャー用品レンタルの実施	葉山公園において、レジャー用品レンタルの実施に向けて、バレーボール等のレジャー用品の無料での貸出しを行った。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

・葉山公園及びはやま三ヶ岡山緑地

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	144,945	159,415	155,862
対前年度比		110.0%	97.8%
目標値	143,000	143,000	149,773
目標達成率	101.4%	111.5%	104.1%

目標値の設定根拠： 前年度、前々年度：平成18～20年度実績平均の95%
平成27年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 葉山公園：駐車台数及び団体利用者数から推計
はやま三ヶ岡山緑地：目視による計数から推計

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日3回の計6回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[施設としての総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 138 / 138 = 100.0%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	95	35	3	4	0	137	広い敷地にも関わらず、とてもきれいに清掃されている。
回答率	69.3%	25.5%	2.2%	2.9%			
前年度の回答数	90	39	4	1	1	135	
前年度回答率	66.7%	28.9%	3.0%	0.7%	0.7%		
回答率の対前年度比	104.0%	88.4%	73.9%	394.2%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 95 / 95 = 100.0%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	33	8	48	0	0	89	気さくに声かけて下さり、分からないことなど教えていただいた。
回答率	37.1%	9.0%	53.9%				
前年度の回答数	62	18	3	2	0	85	
前年度回答率	72.9%	21.2%	3.5%	2.4%			
回答率の対前年度比	50.8%	42.4%	1528.1%	#VALUE!	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	14,000		13,392	駐車場13,392	27,392	27,392	0	100.00%
	決算	14,000		11,598	駐車場11,598	25,598	24,903	695	102.79%
前年度	当初予算	14,400		13,878	駐車場13,878	28,278	28,278	0	100.00%
	決算	14,400		12,476	駐車場12,476	26,876	26,854	22	100.08%
27年度	当初予算	13,199		13,002	駐車場12,447 自販機555	26,201	26,201	0	100.00%
	決算	13,199		15,027	駐車場14,409 自販機617	28,226	26,388	1,838	106.97%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
27年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
	827千円	<葉山公園> あずま屋補修工(481千円)H28.3 <はやま三ヶ岡山緑地> 消防ポンプ小屋補修工(346千円)H27.6

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	243	件	メールにて、近隣住民より管理運営に対する好評価を得た。 はやま三ヶ岡山緑地において、現在地が分かりにくい。	訪問をしてメールのお礼をした。 手作りの名札を作成し、設置した。
	0	件		
職員対応	0	件		
	0	件		
事業内容	0	件		
	0	件		
その他	127	件	公園利用者のタバコに関するマナーが悪い。	利用者への呼びかけや注意喚起を行った。
	0	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。